



## 2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月10日

上場会社名 ポパール興業株式会社  
 コード番号 4247 URL <https://www.poval.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 孝敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 黒田 英文  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名  
 TEL 052-419-1827

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	944	5.0	151	38.3	162	35.9	107	17.1
2021年3月期第1四半期	899	4.9	109	19.4	119	17.7	92	10.7

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 262百万円 (182.7%) 2021年3月期第1四半期 92百万円 (14.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	40.99	
2021年3月期第1四半期	35.01	

(注) 2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	6,384	5,274	82.3	1,994.66
2021年3月期	6,227	5,158	82.5	1,951.11

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 5,255百万円 2021年3月期 5,140百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		30.00		15.00	
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2020年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割いたしました。2021年3月期の第2四半期末の配当につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2021年3月期の年間の配当につきましては、株式分割を行ったことにより単純計算ができないため、表示しておりません。なお、株式分割を考慮しない場合の期末配当は30円であります。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,699	1.6	163	17.7	193	10.0	132	14.0	50.33
通期	3,304	16.0	318	1.2	328	6.1	222	5.1	84.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期1Q	2,634,800 株	2021年3月期	2,634,800 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2022年3月期1Q	226 株	2021年3月期	226 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	2,634,574 株	2021年3月期1Q	2,634,668 株
------------	-------------	------------	-------------

(注)2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、引続き社会経済活動が大きく制限され、先行き不透明な状況が続きました。しかしながら、新型コロナウイルスワクチン接種が世界的に進んだことにより、世界経済は徐々に立ち直りつつあります。

このような環境の中、当社グループは「私たちは、常に新しいサムシングを求め、現場視点でものづくりを発想し、チャレンジし続けることで進化していきます」を経営理念に掲げ、コア技術である「素材選定」「接着加工」「樹脂加工」「機械設計」をより一層駆使して、顧客の様々な問題を解決するソリューションビジネスをグローバルに展開していく方針であります。

当第1四半期連結累計期間においては、総合接着・樹脂加工において、自動車・鉄鋼業界を中心にベルト関連製品の受注が回復基調で推移しました。また、巣ごもり需要によるディスプレイ業界向け研磨部材の販売が昨年来に引き続き、堅調に推移しております。しかしながら、特殊設計機械事業においては、製造業での設備投資に慎重な姿勢が見られるなど、受注環境は厳しい状況が続いております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は944百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は151百万円（前年同期比38.3%増）、経常利益は162百万円（前年同期比35.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は107百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### 総合接着・樹脂加工

総合接着・樹脂加工につきましては、自動車・鉄鋼業界を中心にベルト関連製品の受注が回復基調で推移しました。また、巣ごもり需要によるディスプレイ業界向け研磨部材の販売が昨年来に引き続き、堅調に推移しております。以上の結果、売上高は822百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

#### 特殊設計機械

特殊設計機械につきましては、製造業での設備投資に慎重な姿勢が見られるなど、受注環境は厳しい状況が続いております。以上の結果、売上高は121百万円（前年同期比42.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて156百万円増加し、6,384百万円となりました。このうち、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べて138百万円増加し、3,006百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が144百万円増加したこと（前連結会計年度末の受取手形及び売掛金との比較）によるものであります。また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べて18百万円増加し、3,377百万円となりました。これは主に、投資有価証券が35百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて40百万円増加し、1,109百万円となりました。このうち、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べて34百万円増加し、710百万円となりました。これは主に、賞与引当金が38百万円増加したことによるものであります。また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べて5百万円増加し、399百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて116百万円増加し、5,274百万円となりました。これは主に、利益剰余金が68百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月14日の「2021年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,151,440	1,170,102
受取手形及び売掛金	710,101	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	854,653
商品及び製品	125,866	103,467
仕掛品	502,284	462,315
原材料及び貯蔵品	322,112	340,676
その他	57,057	75,849
貸倒引当金	△430	△435
流動資産合計	2,868,431	3,006,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,777,085	1,785,735
減価償却累計額	△1,129,151	△1,146,966
建物及び構築物(純額)	647,933	638,769
機械装置及び運搬具	1,360,946	1,361,963
減価償却累計額	△1,212,020	△1,220,404
機械装置及び運搬具(純額)	148,925	141,558
土地	1,599,007	1,601,297
建設仮勘定	7,886	14,929
その他	225,494	232,898
減価償却累計額	△200,177	△202,645
その他(純額)	25,316	30,253
有形固定資産合計	2,429,069	2,426,807
無形固定資産		
のれん	19,181	15,339
その他	5,088	6,052
無形固定資産合計	24,270	21,391
投資その他の資産		
投資有価証券	793,948	829,000
その他	112,706	101,401
貸倒引当金	△637	△637
投資その他の資産合計	906,016	929,764
固定資産合計	3,359,357	3,377,964
資産合計	6,227,788	6,384,593

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	342,063	328,135
短期借入金	20,000	20,000
未払法人税等	64,777	51,613
賞与引当金	74,737	112,854
その他	173,909	197,574
流動負債合計	675,488	710,178
固定負債		
役員退職慰労引当金	234,104	237,012
退職給付に係る負債	151,727	154,614
その他	8,262	8,144
固定負債合計	394,094	399,771
負債合計	1,069,582	1,109,950
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	179,605	179,605
資本剰余金	275,336	275,336
利益剰余金	4,451,408	4,519,879
自己株式	△189	△189
株主資本合計	4,906,161	4,974,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194,195	218,470
為替換算調整勘定	39,995	61,965
その他の包括利益累計額合計	234,190	280,435
非支配株主持分	17,853	19,575
純資産合計	5,158,205	5,274,643
負債純資産合計	6,227,788	6,384,593

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	899,173	944,356
売上原価	560,691	563,637
売上総利益	338,482	380,718
販売費及び一般管理費	228,696	228,904
営業利益	109,786	151,814
営業外収益		
受取利息	41	63
受取配当金	4,285	8,039
受取賃貸料	643	3,001
為替差益	4,310	1,014
その他	564	491
営業外収益合計	9,846	12,610
営業外費用		
支払利息	19	17
売上割引	36	—
賃貸収入原価	—	1,894
その他	20	—
営業外費用合計	76	1,911
経常利益	119,555	162,512
特別利益		
固定資産売却益	391	20
特別利益合計	391	20
特別損失		
固定資産除却損	0	270
特別損失合計	0	270
税金等調整前四半期純利益	119,947	162,262
法人税等	27,460	53,638
四半期純利益	92,486	108,624
非支配株主に帰属する四半期純利益	259	635
親会社株主に帰属する四半期純利益	92,227	107,988

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	92,486	108,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,104	24,274
為替換算調整勘定	△38,788	23,056
その他の包括利益合計	316	47,331
四半期包括利益	92,803	155,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,913	154,234
非支配株主に係る四半期包括利益	△110	1,722



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

## (会計方針の変更)

## (収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来は販売費及び一般管理費として計上しておりました販売手数料等の一部及び営業外費用に計上しておりました売上割引については、売上高から減額しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高4,091千円、販売費及び一般管理費4,065千円、営業外費用26千円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益には影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

## (時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	687,770	211,403	899,173	—	899,173
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	687,770	211,403	899,173	—	899,173
セグメント利益又は損 失(△)	89,717	36,602	126,320	△16,534	109,786

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	126,320
セグメント間取引消去	1,930
全社費用(注)	△18,465
四半期連結損益計算書の営業利益	109,786

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	822,916	121,439	944,356	—	944,356
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	—	55	△55	—
計	822,972	121,439	944,411	△55	944,356
セグメント利益又は損 失(△)	168,787	△3,195	165,591	△13,777	151,814

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	165,591
セグメント間取引消去	3,489
全社費用（注）	△17,267
四半期連結損益計算書の営業利益	151,814

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。